

事業所名 グループホーム憩

運営推進会議開催報告書

報告日 令和 3年 9月 16日 (木)	
参加者 (照会依頼含む)	議 題
利用者 0名	1. 行事報告
利用者家族 0名	2. 行事予定
地域住民の代表者 3名	3. 身体拘束適正化検討委員会より
市職員 1名	4. 質疑応答
地域包括支援センター職員 1名	5. 次回開催予定日
事業所 4名	
会 議 録	
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から9月16日に開催を予定していました「グループホーム憩運営推進会議」は開催を中止とさせて頂きました。今後も安心して生活をして頂ける場所の提供ができるよう、マスクの着用や換気、手洗い、消毒を徹底して行う事で感染予防に努めて参ります。</p> <p>また、グループホーム憩では9月中に2回、全職員にPCR検査を行い全員陰性であった事をご報告致します。今後も検査した際には都度、報告をさせて頂きます。</p> <p>1. 行事報告</p> <p>7月27日 女性利用者様の誕生日会を行い、皆様で手作りのフルーツ寒天をお召し上がり頂きお祝いさせて頂きました。</p> <p>8月11日 夕食後に花火を行いました。</p> <p>9月3日 女性利用者様の誕生日会を行い、皆様で手作りのフルーツケーキをお召し上がり頂きお祝いさせて頂きました。</p> <p>9月9日 日中を想定し、地震による火災を想定した避難訓練を行いました。職員の指示により机の下に入り身を守って下さったり、声を掛け合い避難をして下さる等、積極的に参加をして下さり、通報から避難完了まで約1分で終わることが出来ました。</p>	

2. 行事予定

9月23日 敬老会

3. 身体拘束適正化検討委員会より

今回は「転落」「すり落ち」をテーマに書面を配布し、内容を確認して頂きました。

4. 意見回答

- ・避難訓練の際、避難完了までどれくらい時間を要したか。また、前回の避難訓練と比較してよかった点や反省点を教えてほしい。(市役所高齢者福祉課様)

15時おやつの時間の災害発生を想定していた為、全利用者様がフロアでお過ごしになられており、職員の人数の確保が出来、上手く連携も取れた為に完了まで約1分で行う事が出来ました。前回との比較については、事前に消火器の位置の把握、避難経路の確認や役割の確認を全員が行っていた事でスムーズに行えた事がよかったとの意見があった一方で、机の下で揺れが収まるのを待って頂けたが、立ち上がって頂く際に辛そうにされたり、立ち上がる事が出来なくなってしまう方がみえた為、防災頭巾や代用できる物があるといいとの意見がありました。

- ・転倒やすり落ちの恐れがある利用者様は何名いるか。また、意見交換時に具体的な対策が提案されている為、引き続き転倒、すり落ちの防止に努めて頂けたらと思います。(市役所高齢者福祉課様)

ご自分で動かれる方については常に転倒の可能性があるので細心の注意を払い、少しでもリスクが減らせる様にさせて頂いています。すり落ちの可能性のある方につきましては現在3名おり、姿勢が崩れていたら都度、姿勢を直させて頂く様に努めさせて頂いています。また、姿勢の崩れ等で、すり落ちの危険性がある時には原因を考え、柔軟な対応をさせて頂く事で出来る限り原因を取り除く様にさせて頂いています。

・常に利用者様の事を思い、細やかな気遣い、配慮をされていると感じられました。自由に活動できない利用者様が少しでも快適に過ごせる様に何か福祉用具を活用して身体的負担の軽減をした事があれば教えてほしい。(地域包括支援センター様)

ご自分で移動をして頂く事が出来ない方に対して車いすを使用させて頂いていますが、身体的な負担や精神的負担を軽減する為に使用を移動時に限定し、お食事の際など移動を伴わない時には通常の椅子に着座し、お過ごし頂いています。また、身体状態によってはエアマットを活用する事で褥瘡の予防に努めています。

・最近のニュースで介護施設での利用者様への不要な拘束が報じられていました。今一度、利用者様の人権を見直してほしいものです。(地域住民の代表者様)

これまでにグループホーム憩では拘束を行った事はなく、現在も拘束を行う事なく、一人ひとりの人権を尊重し、想いに寄り添った利用者様主体の生活をして頂いています。今後も一人ひとりの想いに寄り添い拘束をしないケアの継続に努めて参ります。

5. 次回開催予定日 令和3年11月25日(木) 14時